中学生向け

かがみの孤城



辻村深月／著
ポプラ社

学校での居場所をなくし、閉じこもっていた“こころ”。
ある日、部屋の鏡が光り始め…。その先には、城のような不思議な建物があった。

獣の奏者
Ⅰ 闘蛇編



上橋菜穂子／作
講談社

孤児となったエリンは山中で、決して人に馴れず、また馴らしてもいけない王獣と出会う。その姿に魅了され、王獣の医術師を目指すが…。

先生、ウンチとれました
野生動物のウンチの中にある秘密



牛田一成／著
さ・え・ら書房

アフリカの秘境で、ゴリラに怒られ、ゾウに追われ、それでも身体の秘密にせまるため。「出したて」を探し求める。

希望の図書館



リサ・クライン・ランサム／作
松浦　直美／訳
ポプラ社

母亡き後、父とシカゴに移り住んだラングストン。
孤独を抱える中、誰もが自由に入れる図書館と出会い、日々が変わっていく。

太陽ってどんな星？



宮原ひろ子／作
新日本出版社

はるか昔の太陽活動の記録を解き明かすと、太陽と地球の気候に関係性があり、天気に影響することがわかった。

白いイルカの浜辺



ジル・ルイス／作
さくまゆみこ／訳
評論社

浜辺でケガをしたイルカの子どもを見つけたカラは何とか助けようとする。海を守ることの大切さに気づき、成長していく少女の物語。

西の魔女が死んだ



梨木香歩／著
新潮社

中学校へ行けない“まい”は、おばあちゃんのもとで「魔女修行」をすることになった。それは、なんでも自分で決めるということ。

俳句部、はじめました
さくら咲く一度っきりの今を詠む



神野紗希／著
岩波書店

五・七・五のリズムに乗せて詠む俳句。一度きりしかない「今」を五感をフル回転させて言葉を探し、世界で一番短い詩「俳句」に詠んでみませんか。

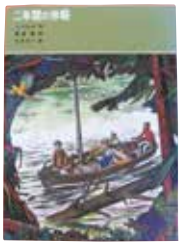
ペーパーボーイ



ヴィンス・ヴォーター／作
原田　勝／訳
岩波書店

ぼくはどもるせいで人と話すのは緊張するけれど、夏休みの間、友達に代わって新聞配達をすることになった。

二年間の休暇



J・ベルヌ／作
朝倉　剛／訳
太田　大八／画
福音館書店

休暇で航海に出た少年たち。ところが嵐で船が流され、無人島に漂着してしまう。力を合わせて無人島で生活していくが…。

木を植えた男



ジャン・ジオノ／著
寺岡　襄／訳
黒井　健／絵
あすなろ書房

フランスの荒涼とした丘陵地帯をたった一人で緑の森によみがえらせたのは、ある一人の羊飼いだった。

スピニー通りの秘密の絵



L.M. フィッツジェラルド／著
千葉茂樹／訳
あすなろ書房

「卵の下を探せ」トラックにひかれた祖父の遺言。祖父から絵の英才教育を受けたセオは、卵の下にある秘密の絵の鑑定に挑む！

モ モ



ミヒャエル・エンデ／作
大島かおり／訳
岩波書店

大好きな町の人たちの様子がおかしい！
時間どろぼうからぬすまれた時間をとりかえすモモの不思議な物語。

夏の庭
― The Friends ―



湯本香樹実／作
徳間書店

「死んだ人が見たい！」ぼくたちは、一人暮らしのおじいさんが、もうすぐ死ぬことを期待して、毎日、見張ってみることにした。

熊谷市立図書館

熊谷図書館 ☎ 048－525－4551　妻沼図書館 ☎ 048－588－6878
大里図書館 ☎ 0493－36－1126　江南図書館 ☎ 048－536－6303

URL http://www.kumagayalib.jp/　携帯 http://www.kumagayalib.jp/mobile/

2021年7月発行

「図書館でおすすめする子どもの本」は、17,000部作成し、印刷・製本にかかる費用は、1部当たり7円です。